

泉陽会会員の出版書籍情報

石田周二（昭和26年卒 3期）

長らく電気機関車とディーゼル機関車の開発・設計に携わってきた著者が、その構造、技術発展の経過、各国の状況とメーカーの変遷などについて詳細に解説した共著2編。

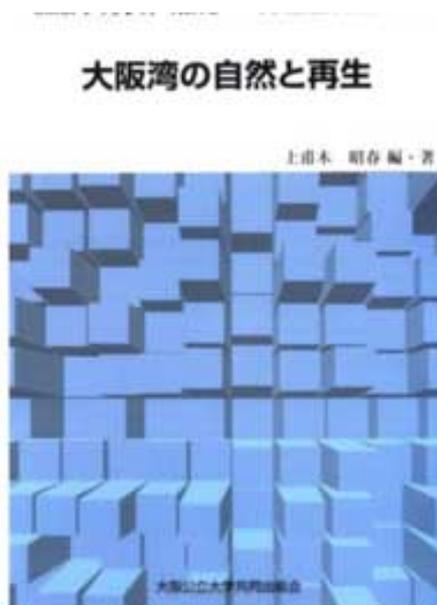
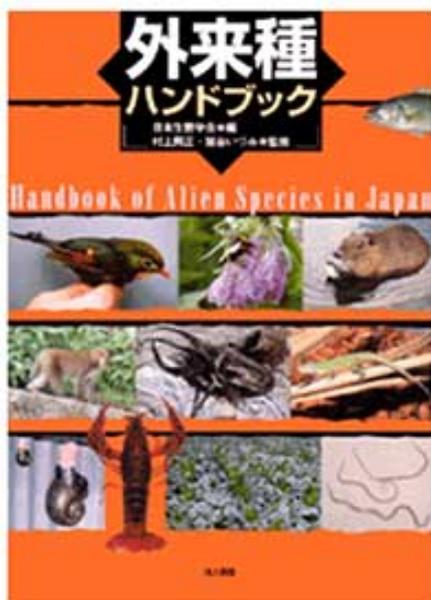
- (1)「電気機関車とディーゼル機関車」（成文堂書店 2015年6月24日）
- (2)「電気機関車とディーゼル機関車(改訂版）」（成文堂書店 2017年8月26日）



鍋島靖信（昭和47年卒 24期）

海洋分野の専門家として、特に大阪湾の漁業や海洋生物に精通し、官民の複数の環境保全活動に携わる著者の共同執筆書籍3編。

- (1) 「外来種ハンドブック」（地人書館 2002年9月1日）
- (2) 「大阪湾の自然と再生」（大阪公立大共同出版会 2008年3月25日）
- (3) 「新 写真でわかる磯の生物図鑑」（海文堂出版 2023年5月23日）



関口卓治(ペンネーム：関口登志)(昭和49年卒 26期)

著者がベトナム・ホーチミン市に日本語教師として赴任した経験をもとにした小説。

- ・ 「サイゴンに咲く」(文芸社 2023年8月15日)



大浜誠一郎（昭和52年卒 29期）

著者が奉職した「消防の世界」での様々な経験を綴った自分史としての2編。

- (1) 「消防人生いろいろ ～放水できなかった消防士～」(文芸社 2020年3月7日)
- (2) 「消防386話 ～私の回顧伝～」(文芸社 2022年6月25日)

